

トライデントデザイン専門学校
2025年度 学校関係者評価結果資料



TRIDENT

学校法人 河合塾学園
トライデントデザイン専門学校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価結果一覧

学校法人 河合塾学園
トライデントデザイン専門学校
校長 木村 俊介

2025年度自己点検・自己評価項目に添い、学校関係者評価委員に本校の自己点検結果について採点と講評をいただきました。
その結果一覧について以下公表いたします。

なお数値化された採点の評価基準については以下の通りです。

- 3：基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている
- 2：基準を概ね満たす
- 1：基準を満たしておらず改善が必要
- N：情報不足により評価できない

基準	点検・評価項目	評価の視点 (自己点検評価への記述内容)	委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	委員 E	委員 F	コメント(任意入力)
1-1-1	①教育理念等を踏まえ、当該専門学校として、目的及び目標を設定し、学科（コースを設置している場合はコースごと）ごとに育成する人材像を明確にしていること。	○当該専門学校の教育理念を踏まえた目的、目標が適切な決定過程により設定されているか ○設置している課程（学科、コースを設置している場合はコースごと）ごとに目的、目標、育成人材像が具体的に示されているか ○当該専門学校の教育理念、目的、目標と学科等ごとの目的等との関連性が明確になっているか ○また、入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、卒業認定方針との関連性が明確になっているか ○教職員、学生、社会に対して教育理念等が十分に周知・公表されているか	1	1	2	2	2	2	【委員B】自己点検・評価報告書のとおり。最初からコースが決まっているのではなく、他コースと比較・検討した上で進む道を決められるというのが本校の魅力の一つだと思うのでコース選択が1年生の後期からと早まったこともあり、目標や人物像を明確にして、入学を検討しているタイミングや入学前に理解できているとより密度の濃い最初の半年間が過ごせるのでは。入学時に『どんな方向性があるのか』『半年後どうなっていたいか』などを念頭において学生生活を送っていく間の判断・検討材料にもなるかと思う。 個人的に気になる点としては、選択するコースが4コースに増えたけれど、検討期間が1年から半年に縮小されたこと。学べる内容や深さに変化はでてくるのか...?など。 【委員E】コースごとの人材育成方針が入学前の説明会・入学後のオリエンテーション等で明確に示されていました。授業内容や資格取得支援もその方針に沿っており、目標と教育内容の関連性を理解しながら学ぶことができました。教育理念等の周知・公表は適切に行われていると感じます。

基準	点検・評価項目	評価の視点 (自己点検評価への記述内容)	委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	委員 E	委員 F	コメント(任意入力)
1-2-1	①職業教育を推進（教育の企画・設計・運用、検証及び改善・向上等）するために必要なマネジメント体制 （以下「職業教育のマネジメント体制」という。）を整備し、有効に機能していること。	○当該専門学校の目的を実現するために、学校内に具体的に職業教育を推進するための組織体制を整備しているか 【組織体制の例】 ・教育の企画・設計・運用を行うための会議や委員会（幹部会議、学科長会議、教育課程編成委員会、教員会議など） ・教育活動、学校運営等の検証及び改善・向上への取組を推進するための会議、委員会 （自己点検評価委員会、FD、SD 委員会、外部評価委員会など） ○職業教育のマネジメント体制は有効に機能しているか 【役割分担、責任の所在の明確性】 ・設置している委員会等に置いてそれぞれの役割分担（所管事項）及び最終的な責任体制の所在を明確にしているか 【職業教育のマネジメントの機能性】 ・職業教育のマネジメント体制による教育活動等の管理運営、検証、改善の取組、成果の把握などが明確になっているか	2	2	2	2	2	2	【委員E】 企業ニーズを踏まえた実践的な授業や資格取得支援が行われていた感じています。情報共有や学生への対応も適切で、職業教育を推進するための体制が有効に機能していると評価します。
2-1-1	①学校の目的・目標及び育成人材像を実現するための教育課程編成・実施方針を定め、方針に基づき、必要な授業科目を体系的・段階的に配置した教育課程を編成していること。	○教育課程の編成にあたって、卒業認定方針を踏まえ、学校の目的・目標及び育成人材像を実現するための教育課程編成・実施方針を策定しているか ○教育課程編成・実施方針に基づき、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置し教育課程を体系的に編成しているか ○当該専門学校における教育課程編成の過程は、明確になっているか	1	2	2	2	2	2	【委員E】 在学中は、基礎科目から専門科目へと段階的に学べるカリキュラムとなっており、知識や技術を無理なく習得することができました。また、インテリアコースでは、手書き製図からCAD製図、設計、モデリング、プレゼンテーションまで幅広く学ぶ機会があり、実務につながるさまざまな業界知識や技術に触れることができました。そのため、教育目標や育成人材像に沿った体系的な教育課程が編成されていると感じます。
2-1-2	②教育課程編成のために、教職員及び企業等の役職員その他の委員により組織する教育課程編成委員会等を設置し、年２回以上開催していること。 【注）職業実践専門課程】	○職業実践専門課程の認定課程（学科等）を設置する学校においては、産業界及び地域社会との連携による教育課程の編成・実施のため、教育課程編成委員会を設置しているか ○上記委員会を年２回以上開催し、産業界等からの意見について具体的に反映させるなど、委員会を機能させているか	3	2	2	2	N	2	【委員B】 カリキュラムに反映しているにもかかわらず、何をどう変えたのかが明確にされていないのはとても勿体無い。(生徒や保護者に対してという意味でもアップデートしている姿勢も見せられるのでは)
2-1-3	③外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を300時間以上開設していること。 【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	○外国人留学生キャリア形成促進プログラムの認定課程を設置している専門学校においては、外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を 300 時間以上開設しているか ○該当する授業科目は、文部科学省が規定する要件を満たす適切な内容になっているか	1	N	2	N	N	2	【委員B】 生徒割合が少ないため設定していないという評価だが、個別対応はしているという認識でお間違いないでしょうか？

基準	点検・評価項目	評価の視点 (自己点検評価への記述内容)	委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	委員 E	委員 F	コメント(任意入力)
2-2-1	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技等、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、学校が定めた基準に基づき成績評価を行っていること。	○各授業科目について、適切な授業形態、方法及び教材が用いられているか ○授業科目ごとにシラバスを作成し、学生に周知しているか ○学生に対する履修指導、予習・復習等に係る相談・支援に取り組んでいるか ○成績評価について、授業科目の内容、形態に応じた基準を設定し、シラバス等で学生に明示した上で、学生の学習に係る評価を公正かつ厳格に行っているか ○成績評価の公正性・厳格性を担保するために、学生からの成績評価に関する問合わせ等に対応するしくみを整備し、かつ学生に対して明示し、適切に運用しているか	2	2	2	2	2	2	【委員B】視点の上から2つは担任制度のこともあり、明記されていないが手厚い授業体制がとられている印象。その他の部分については自己点検・評価報告書のとおり。 【委員E】授業内容に応じて適切な授業形態・教材が用いられ、シラバスによる周知や学習支援も十分に行われていたと感じます。成績評価についても基準が明確で、公正かつ適切に運用されており、社会人として現在の業務に活かせる知識や実践力を身につけることができました。
2-2-2	②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。また、教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。 【注）職業実践専門課程】	○職業実践専門課程の認定課程（学科等）を設置する学校においては、実践的な職業教育として重要な企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）を行っているか ○連携実習等の総事業時間数に占める割合を設定しているか ○連携実習等において、協力機関等と到達目標等を共有し、成績評価等について必要な協働・連携する体制を整備しているか	3	3	3	2	2	2	【委員B】本校の特徴の一つにもなる部分。企業様からのフィードバックを学びに変えられるような振り返りの時間などは用意されているのでしょうか?(表現の場だけでなく、実務感覚が得られるか) 【委員C】7年度の産学連携に関して、イベント企画だけでなく、販促物も考えるというのは非常にいいと思う。 お客様に届けるものを実際に作ってみるというのは重要ですし、産学連携はトライデントの非常に強い強みだと思うので、引き続き続けてほしい 【委員E】企業等と連携した実習・演習を通じて、実務に即した知識や技術を学ぶ機会が十分に確保されていたと感じます。教育内容と現場ニーズの結び付きが強く、社会人となった現在の業務にも役立っています。
2-3-1	①学校の目的・目標及び育成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業を認定していること。	○あらかじめ、学生に周知している卒業認定方針に即した卒業認定の基準及び方法によって卒業認定を行っているか	3	2	2	3	2	2	
2-4-1	①卒業認定方針に明示した学科・コースごとの職業能力（資格・免許等の取得、必要な知識や技術、技能、職務遂行能力の修得など含む。）の学生の修得状況を把握し、評価していること。	○卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力（資格・免許等の取得、必要な知識や技術、技能、職務遂行能力の修得含む。）の修得についての目標を定め、学生の達成状況を把握し評価しているか	3	2	2	3	2	2	【委員E】資格取得や作品制作、課題評価を通じて、学生の知識・技術・職業能力の習得状況は適切に把握・評価されていたと感じます。卒業後に振り返っても、業界で必要となる基礎的な能力を身につけられる教育体制だったと思います。

基準	点検・評価項目	評価の視点 (自己点検評価への記述内容)	委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	委員 E	委員 F	コメント(任意入力)
2-4-2	②学生の進路に関する目標を定め、その目標を達成していること。	○学生の就職、進学等進路に関して具体的な目標を定め、その目標の達成状況を把握しているか ○卒業後の進路・キャリア形成に関する相談や指導などの支援体制を整備し適切に運用しているか ○卒業生の進路・キャリア形成状況等を踏まえ、当該専門学校の教育課程、教育方法、学修成果等を検証し、必要に応じ、それを踏まえた改善・向上策をとっているか ○卒業生、実習先・就職先など関連する企業及びその他組織の意見や在学生の意見を勘案するなど、多角的、継続的な視点に立った検証方法等について工夫をしているか	3	1	2	3	3	2	【委員B】卒展の参加率によってはどれほどの意見が得られるかが判断仕切れない部分もある。(卒業してから時間がたっていたり、転職したりなどしていると顔を出しづらいという人もいるかも)そういった繋がり場とは違う方向性で意見反映の機会が得られると良いのでは。例えば、卒業1.2年の人たちの意見はかなりリアルだと思う。今、必要とするスキルや業界の流れは動きがあると思うので、業界講師だけでなくそういった面でアップデートできれば。 【委員E】進路に関する目標設定や就職支援は充実しており、在学中からキャリア形成を意識できる環境が整っていたと感じます。進路相談や企業紹介に加え、面談・面接練習も実施されていたため、就職活動への不安を軽減し、自信を持って進路選択に臨むことができました。
3-1-1	①入学者の受入方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	○卒業認定方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえて学生の受入れ方針を定め、求める学生像や入学者に求める水準等を明確に示しているか ○また、選抜方法及び手続をあらかじめ公表した上で、所定の選抜基準及び体制のもとで適切かつ公正に入学者を選抜しているか	2	1	2	3	N	2	【委員B】基準1-1-1と同様。コース選択をあらかじめ見据えてイメージしてもらえる流れがあると...(入学者率などのバランスもあるが)
3-1-2	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。 【注）修学支援新制度機関要件の確認】 【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	○入学定員に対する入学者数及び収容定員に対する在籍学生数を適正に管理しているか	2	2	2	1	N	2	
3-2-1	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生の修学に関する支援を行っていること。	○障がいのある学生、海外からの留学生等多様な学生に対して必要な配慮、支援を行っているか	1	2	2	2	N	2	
3-2-2	②特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されていること。 【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	○特に、外国人留学生キャリア形成促進プログラムの認定課程を設置する専門学校においては、海外からの留学生について適正な在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されているか	3	2	2	N	2	2	【委員E】留学生の在籍管理や進路指導については、学校として適切に対応されていたと思います。また、授業やグループワークを通じて日本人学生と留学生が自然に交流できる環境があり、多様な価値観に触れながら学ぶことができる点も良かったと感じます。

基準	点検・評価項目	評価の視点 (自己点検評価への記述内容)	委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	委員 E	委員 F	コメント(任意入力)
3-2-3	③学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	○学生が就学を継続するための経済的側面に対する支援体制を整備し、情報の提供及び相談について適切に周知、運用しているか	3	2	2	3	2	2	【委員E】奨学金制度や学費に関する相談窓口など、学生の経済的負担を軽減するための支援体制が整っていたと感じます。必要な情報も適切に案内されており、安心して学業に取り組める環境が提供されていたと思います。
3-3-1	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること	○学生生活等に関する相談体制を整備し、相談対応について、十分、学生に対して周知し、機能、活用されているか、	3	2	2	3	2	2	
3-3-2	②学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	○定期的な健康診断の実施、結果のフォロー、健康管理に関する啓発活動など、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか	3	2	2	3	2	2	
3-4-1	①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	○自主学習等に対する相談対応と学習支援 ○成績不振の学生の状況把握と指導 ○留年及び休学者の状況把握と対応 ○退学希望者の状況把握と対応	3	2	2	3	3	2	【委員C】外部イベントに学生さんが参加できる機会を提供しているのですが、可能であれば名古屋に収まらず、東京や大阪のイベントに参加（出展、一般参加問わず）する機会もぜひ提供してあげてほしい。 規模感や参加人数が名古屋と東京大阪とでは圧倒的に違うので、自分を売ること以上に流行や有名な人の作品を見る、知る場やチャンスを設けてあげてほしい。 【委員E】学習支援や教員への相談体制が整っており、学生一人ひとりの学習状況に応じたサポートが行われていたと感じます。成績や進路に不安を抱える学生に対しても適切な面談や指導が行われており、安心して学習を継続できる環境が整っていたと思います。
3-4-2	②正規の授業時間以外に行われる、課外活動など学生の自主的な活動を充実させるため、適切に支援していること。	○部活動などの実績と支援の実施 ○ボランティア活動の実績と支援の実施	3	2	2	2	2	2	【委員E】課外活動やボランティア活動については、学校から参加の機会や支援があり、充実した環境だったと感じます。私自身もボランティア活動やバドミントンサークルに参加し、学科や学年を超えた交流を通じて多くの経験を得ることができました。
4-1-1	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員について、採用基準等を整備し、適正に配置していること。	○法令上の基準を遵守し、学校の目的を実現し、目標の達成するための教育を十分に実施できるだけの教員を配置しているか	1	2	2	3	2	2	【委員B】自己点検・解決策の通り。

基準	点検・評価項目	評価の視点 (自己点検評価への記述内容)	委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	委員 E	委員 F	コメント(任意入力)
4-2-1	①学校の目的に応じた教育を実施するために、適切な業務分担、責任体制のもとで分野の区分ごとに、教員の組織体制を整備していること。	○当該専門学校の教育活動を進めるための基本的な組織体制を整備しているか ○組織の責任体制、役割分担が規程等において明確で、連携体制が機能しているか、	1	2	2	2	2	2	【委員B】 自己点検・解決策の通り。
4-3-1	①学校の授業の内容及び方法の改善を図るためのFD(Faculty Development)など組織的な取組や教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	○教員の資質向上を図るために、研修計画を作成し、計画的に必要な研修を受講させるなど組織的な取組を行っているか ○教育の質の向上に向け組織的なファカルティ・ディプロットメント活動に取り組んでいるか (実施例) ・教員相互の授業参観の実施 ・授業方法についての研究会の開催 ・新任教員のための研修会の開催等 ○上記の取組を行う上で、専門学校として、教育及び専門領域の実務に関する知見の充実、教育上の指導能力及び教員に求められる職能に関する理解を図っているか	3	2	2	2	N	2	
4-3-2	②教員の専攻分野における実務に関する知識・技術、技能を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的にを行っていること。【注）職業実践専門課程】	○職業実践専門課程の認定校においては、企業等と連携した研修（専攻分野の知識等）を組織的にを行っているか	1	2	2	2	N	2	
4-3-3	③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的にを行っていること。 【注）職業実践専門課程】	○職業実践専門課程の認定校においては、企業等と連携した研修（指導力の向上）を組織的にを行っているか	2	2	2	N	N	2	
5-1-1	①専修学校設置基準及び関連法令に基づき、教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。（補修、更新含む）	○当該専門学校における教育課程を実施するために必要、かつ十分な施設と、学生数、教育内容、教育方法に対応するための設備を整備し、十分活用しているか、 ○施設、設備について適宜点検し、計画的に改修、補修等を適切に行っているか	3	2	3	2	2	2	【委員B】 卒制時の表現の幅を広げるサポート(各々で業者などとやりとりをしていた印象。やりとりをするという能力もつくし、先輩はどのような業者でどんな作品を作ったなどがわかると後輩も活かせる...?) 【委員C】 液晶タブレットを導入したのはとてもいいと思う。ただし、企業によっては板タブレットを使用している会社もあるので、学生のうちに板タブレットでもある程度制作ができる程度のスキルを習得できる機会は提供し続けてほしい。 【委員E】 施設や設備は当時の教育内容に対応できるものが整備されており、授業や作品制作に集中して取り組める環境だったと感じます。

基準	点検・評価項目	評価の視点 (自己点検評価への記述内容)	委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	委員 E	委員 F	コメント(任意入力)
5-2-1	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	○学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、火災の発生及び大規模災害発生時並びに授業中の安全管理等において、適切に対応しているか	3	3	2	2	N	2	
6-1-1	①当該専修学校の中期事業計画又は設置法人の中期事業計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	○当該専門学校の目的を実現するために、実効性のある具体的な中長期的計画が策定されているか ○設置法人が策定している場合は、計画上に当該専門学校における教育等の内容が明確に位置付けられているか ○計画の進捗状況、組織上の役割分担、計画の見直しなど計画の遂行の実効性は十分か	3	2	2	2	N	2	
6-1-2	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。 【注】修学支援新制度機関要件の確認 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	○中期事業計画を実行し、当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか、不十分な場合は改善に向けた計画を策定しているか	3	N	2	2	2	2	【委員E】具体的な財政状況はわかりませんが、教育活動や設備更新、就職支援などが安定して実施されており、学校運営の基盤はしっかりしていたと感じます。学生が安心して学べる環境が継続的に提供されていたことから、安定した運営体制が確保されていたと思います。
6-2-1	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること。	○当該専門学校の全体の運営について、事務組織体制を整備し、業務分担、責任体制が明確になっているか ○教員と職員による連携体制を確保しているか ○校長による意思決定及び執行管理が適切に行われているか	2	2	2	3	3	2	【委員E】教員と事務職員の連携が取れており、授業運営や学生対応も円滑に行われていたと感じます。各種手続きや相談への対応もスムーズで、学校全体として組織的かつ安定した運営がなされていたと思います。
6-2-2	②学校運営に必要な知識・技能等を身に着け、意欲及び資質を向上させるために SD（Staff Development）活動などの取組が行われていること。	○学校運営を適切かつ効果的に行うため、学校の管理運営や教育活動等に関わる教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための組織的に研修の機会を設けるなどの取組みを行っているか	3	2	2	2	N	2	
6-3-1	①当該専修学校の教育活動、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表し、継続する教育機関、産業界、自治体等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいること。	○自己点検・評価結果をはじめ、公表が求められている教育情報について適切に公表し、説明責任を果たしているか ○当該専門学校の教育内容等が社会から理解を得られるように、特に産業界等への積極的な取組が行われているか ○教育課程の編成、実施など実践的な職業教育の展開、改善・向上に向け、継続する教育機関（高等学校等）、産業界、自治体等からの意見を積極的に聴取し、活用しているか	3	2	2	2	2	2	【委員E】学校ホームページやSNS等での案内、卒展などを通じて教育内容や活動内容が積極的に発信されており、学校の特色や取り組みが分かりやすく伝えられていたと感じます。また、企業との連携や実践的な授業も多く、産業界の意見を教育に反映しながら、社会で活躍できる人材育成に取り組んでいたと思います。